

- 1 日時 平成22年11月26日(金)
 2 学年・組 第1学年1組(男子15名 女子18名 計33名)
 3 指導事項

(1) 話すこと・聞くこと イ

全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

(2) [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

(1) イ 言葉のきまりや特徴に関する事項 (ウ)

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

- 4 単元名 スピーチ 「中学生になって PART II 学校生活を通して自分がどう変わったか」

5 言語活動

スピーチを聞き、そのスピーチについて「何を伝えたいのか」をグループで考えることにより、「相手に伝わるスピーチ」とはどのようなものなのかを考える。

6 単元の評価規準と目指す生徒の具体的な姿

国語への関心・意欲・態度	話す能力 聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○全体の構成を考え、伝えたいことを意欲的に話したり、聞いたりしようとしている。	○具体的事実から気付いたこと、考えたことを一般化した表現へつなぎ、主張を明確にして話している。 ○話し手の伝えたいことをとらえながら聞いている。	○体験に基づいた実感のある言葉について理解を深め、実際の言語活動において取り入れている。

7 単元について

○生徒の状況

- 教科書の教材「一分間スピーチをしよう」を行った際に、「構成メモだけを頼りに聞き手を見て話すこと」や「声の大きさ」「抑揚」などの話し方のスキルは上手にこなす生徒が多かったが、事実と意見、構成に注意し、自分の考えを一般化して表現したり、主張を明確にした話し方を工夫する内容面での指導が不十分であった。

○教材の価値

- 本教材は、「事実と意見」との関係に注意して話を構成することの大切さを意識させようとしており、「伝えたいこと」を明確に話すためにどのようなことが必要かを考えさせることに適した教材である。

○指導の工夫

- 帯単元での指導をすることにより、構成やプレスピーチまでの時間に余裕を持たせる。
- 「話すこと」の力をつけるために、グループ活動を通して相手に伝わるスピーチがどのようなものを気付かせる。

8 単元の学習と評価の計画

時	学習活動(評価方法)
1	自分が書いた作文をもとに、「伝えたいこと」を中心としたスピーチメモを作成する。メモをもとにスピーチ原稿を作成する。(ワークシート)
2	スピーチメモをもとにして作成した原稿を推敲し、小グループでプレスピーチを行う。(観察)
3	スピーチを聞いて、話し手が「伝えなかったこと」をグループで話し合い、「相手に伝わるスピーチ」とは何かを考える。(ワークシート) 本時
4	前時までをふり返り、「相手に伝わるスピーチ」とはどんなものなのかをグループで考える。(ワークシート)

*準備物 ワークシート 画用紙 付箋

9 目標

○よりよい表現とは何か、伝えたいことを明確に伝えるために必要なことは何かを理解すること。

10 学習展開

過程	学 習 活 動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
<p>確認 意欲付け</p> <p>[5分]</p>	<p>1 前回までの学習をふり返る。</p> <p>2 本日举行うスピーチとグループ討議についての確認を行う。</p>	<p>○前時をふり返り、スピーチを聞く姿勢、話し合いの目的意識を明確にする。</p>	
<p>「大切な言葉（印象に残ったこと）」についてメモを取り、話し手が「伝えたいこと」は何かを聞き取ろう。</p>			
<p>展開</p> <p>[2分]</p> <p>[5分]</p> <p>[15分]</p> <p>[5分]</p>	<p>3 スピーチを聞く。</p> <p>4 スピーチを聞いて、自分がメモした内容について整理する。</p> <p>5 小グループになり、付箋のグルーピングを行い、画用紙にまとめていく。また、その「印象に残ったこと（言葉・表現）」をもとにして、スピーチで「伝えたいこと」は何かについてもグループでまとめる。</p>	<p>○メモを取りながら聞く。</p> <p>○自分がどんなことをメモしたのかを確認し、整理してからグループ討議に臨む。</p> <p>○付箋に書いたもので同じようなものをグルーピングしながら出た案を画用紙 a に貼っていく。なぜそこが印象に残ったかもグループで討議しておく。</p> <p>○「伝えたいこと」についてはグループ内で一つにまとめる。まとまった案を画用紙 b に書く。</p> <p>○書いたものを黒板に貼る。</p> <p>C 机間巡視を行い発言を促す。</p>	<p>ワークシート 付箋 画用紙 a 画用紙 b</p> <p>A 伝えたいことを明確に伝える方法について考え、グルーピングの中心となって話を進めている。</p> <p>B 伝えたいことを受け止め、グルーピングを通して理解しようとしている。</p>
<p>黒板に貼りだした「伝えたいこと」について、それぞれの班でどのように解釈して書いているかを考えよう。（同じような表現、異なる表現を整理していこう）</p>			
<p>[5分]</p>	<p>7, 話し手の「伝えなかったこと」について黒板に貼りだし、各グループの考えと対比する。</p>	<p>○「伝えたいこと」についても</p> <p>○スピーチした人の考えと同じもの、違うものについて整理して貼り直す。</p>	
<p>日常化 一般化</p>	<p>8, よりよい表現とは何か、伝えたいことを明確に伝えるために必要なことは何かを考える。</p>	<p>○伝えなかったことが</p> <p>①なぜ正確に伝わったのか （例）実感のある言葉 主張が明確、構成力など</p> <p>②なぜ伝わらなかったのか について考える。</p>	